

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名	環境衛生美化推進事業				事業期間	昭和61年度 ～ 年度							
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-2-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	空き地などの管理が適正に実施されることにより、地域の生活環境が快適に保全されることを目的とする。						手段 (どのような方法で実現するのか)	管理不良状態である空き地の土地所有者に対し、期限を定めて雑草等を除去するよう勧告する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	市民及び市内土地の所有者。						成果 (どのような効果が得られるのか)	市民の環境に対する美化意識の高揚が図られ、清潔で快適な生活環境を形成する。 地域の環境を衛生的に保全する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	昭和61年4月より施行した砂川市空き地管理指導要綱に基づき指導を行っており、町内会に対する調査依頼、市民の通報などに基づく情報提供を受けて現地調査を行い、実態把握を行っている。												

【DO】

実績

(単位：円)

[illegible]

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）			指標名：管理不良な空き地の勧告件数				指標の求め方：管理不良な空き地の所有者に雑草の処理を勧告した件数									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）			指標名：勧告に対する雑草処理の割合				指標の求め方：勧告した件数に対し、雑草が処理された件数の割合									
			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値 30	実績値 26	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
		成果指標 1 (単位/%)	計画値 62	実績値 69	64	66	68	70	72	74	76	78	80			
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				良好である										
			自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	判断理由： 砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら活動を行い、市内の環境美化に一定の成果を上げていることから良好と判断した。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら当事業を実施しており、市内の環境美化に一定の成果をあげていることから今後も当事業の継続は必要であると判断される。				R8：				R10：					

【PLAN】

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

【DO】

(単位：円)

[illegible]

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）			指標名：衛生組合美化活動回数				指標の求め方：衛生組合美化活動の回数									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）			指標名：美化活動参加者数				指標の求め方：美化活動延人数									
			第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総合計画
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/回)	計画値 4 実績値 3	4 4	4 3		4 4	4 4	4 4		4 4	4 4	4 4	4 4		
		成果指標 1 (単位/人)	計画値 220 実績値 194	220 240	230 200		230 255	240 4	240 4		250 4	250 4	260 4	260 4		
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				良好である										
			自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっているが、春季飛散ごみ回収や各種会議が新型コロナウイルスの影響により中止となり、参加者が昨年と比べ減少した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっているが、新型コロナウイルスの影響により中止が無くなり、参加者が昨年と比べ増加した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっているが、秋季ごみ拾いが北光公園でのヒグマ出没により中止になり、参加者が昨年と比べ減少した。	判断理由： 砂川市衛生組合は、砂川市の清掃美化活動の中心を担っている組織であり、数多くの事業をボランティアで実施し、市内の環境美化に多大な貢献がある事から良好と判断した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっている。	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 砂川市衛生組合は市民が自主的に砂川市の清掃美化活動の中心を担っている組織であり、実施している事業は市内の環境美化に多大な貢献がある事から補助金交付の継続が必要である。				R8：				R10：					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：巡回パトロール実施日数	指標の求め方：巡回パトロールを実施した日数
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：不法投棄物回収量	指標の求め方：不法投棄物を回収した量

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
事業 業務 事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/日)	計画値 140	140	140		140	140	140		140	140	140	140		
			実績値 140	140	140		140									
		成果指標 1 (単位/kg)	計画値 4,000	3,900	3,800		3,700	3,600	3,500		3,400	3,300	3,200	3,100		
			実績値 1,270	2,660	1,250		1,120									
	評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				普通である										
			自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	判断理由： 不法投棄物の回収及び処理は適正に行われている事から普通と判断したが、家電の投棄件数は減少傾向にあるものの根絶することは難しいと思われるので、引き続き対策が必要である。	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 不法投棄が大きく減少しない状況であることから、監視カメラや防止看板の設置箇所や数について検討を続けて行い、不法投棄抑制に向けて常に対策していくことが必要である。				R8：				R10：					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）			指標名：合同墓年間収容数				指標の求め方：合同墓へ埋葬した収容数									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）			指標名：墓地区画使用許可率				指標の求め方：墓地における区画使用を許可した割合									
			第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総合計画
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第 10 年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/体)	計画値 50 実績値 47	50 82	50 85		50 148	50	50		50	50	50	50		
		成果指標 1 (単位/%)	計画値 89.2 実績値 89.5	89.3 89.7	89.4 89.7		89.5 89.7	89.6	89.7		89.9	90.0	90.2	90.3		
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
	評価内容	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				良好である										
			自己分析： 使用許可の件数は 予定よりも多くな っている。 施設設備の軽易な 破損の補修や支障 木の剪定については 、委託 管理委託の中でシ ルバー人材センター が行っているが、利 用に支障がないか全 体的な設備の点検を 行っていく必要がある 。	自己分析： 使用許可の件数は 予定よりも多くな っている。 施設設備の軽易な 破損の補修や支障 木の剪定については 、清掃 管理委託の中で行 っているが、排水や 通路、法面など全 体的な施設の点検を 行っていく必要があ る	自己分析： 使用許可の件数は 予定よりも多くな っている。 施設設備の軽易な 破損の補修や支障 木の剪定については 、清掃 管理委託の中で行 っているが、排水や 通路、法面などど うのように改修を行 っていくか検討する 必要がある	判断理由： 一般墓地区画及び 合同墓の利用数は 順調に増加しており 、良好と判断した。	自己分析： 使用許可の件数は 予定よりも多くな っている。 施設設備の軽易な 破損の補修や支障 木の剪定については 、清掃 管理委託の中で行 っているが、排水や 通路、法面などど うのように改修を行 っていくか検討する 必要がある	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 空き区画に繁茂した樹木が、使用に支障をきたす状態になっている 例が散見されていることから、剪定や伐採などを行い対策していく ことが必要である。				R8：				R10：					

【PLAN】

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

【DO】

(単位：円)

[illegible]

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：公害調査箇所数	指標の求め方：調査箇所数
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：生活公害に関する苦情	指標の求め方：苦情件数

				第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
事業 評価	指標	活動指標1 (単位/箇所)	計画値	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17			
		実績値	17	17	17	17	17										
	成果指標1 (単位/件)	計画値	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0			
		実績値	2	3	0		1										
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)						達成されている									
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)						あまり上がっていない									
		事業の効率性 (事業費に対する成果)						変わらない									
		総合評価						普通である									
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析： 自動車騒音常時監視について、1区間において環境基準値を超える結果となったが、公安委員会に対応を要請する要請限度を超えてはいない。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析： 自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	判断理由： 事業の成果は自動車騒音の状況から上記のとおり評価したが、自動車騒音は要請限度を超えてはおらず、また、他の指標は計画値を満たしていることから、総合的には「普通である」と判断した。	自己分析： 自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
	今後の方向性						現状のまま継続										
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 事業の実施方法には改善の余地がないと考えられるため、今後の方向性は「現状のまま継続」と判断した。自動車騒音常時監視において国道12号を中心に環境基準値を超えている区間があることについて、道路の改良工事が行われて騒音が軽減されていると考えられるが、今後もスピードダウンなどと呼び掛けて騒音の軽減を図ってきたい。				R8：				R10：							